

【尿管結石】

尿管結石は、激しい背部痛や血尿を主症状として救急車で来院されるケースも少なくありません。原因は食生活が関与しており、成分としてはシュウ酸カルシウム結石が最も頻度が高いです。また、結石が原因によって、感染を起こし、敗血症といった全身に細菌が回ってしまう重篤な状態になることもあるので注意が必要です。経尿道的結石破碎術は、尿道から内視鏡を挿入し、直接に結石を確認し、レーザーで破碎する方法です。最も短期間に結石を消失させることができます。結石の治療には、体外衝撃波結石破碎法（ESWL）もありますが、結石を短期間で消失させるのには経尿道的結石破碎術の方が優れています。最近では、内視鏡も発達して、これまでの硬いカメラに加えて柔らかいカメラを用いることで腎臓の結石も治療することができるようになりました。入院期間も短期間で済み、多くの患者さんに満足して頂いています。経尿道的結石破碎術を受けられる方はこのような入院生活を送ります。

泌尿器科		経尿道的結石碎石術を受ける患者さんへ						患者さん用		
お名前:		主治医:				担当看護師:				
項目	月日	入院2日目		入院3日目		入院4日目		退院		
		手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目			
達成目標		・手術までの流れが理解出来る。 ・不安な点、疑問点を医療者に確認できる確認出来る。		・尿の管の閉塞がない。 ・苦痛(尿意やお腹の張り)があれば医療者に伝えることが出来る。		・病棟内を歩くことが出来る。 ・管を抜いた後に尿が出る。		・水分を1500～2000ml程度取ることが出来る。		・不安なく退院出来る。
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ	点滴	・朝から点滴があります(朝1番目の手術の場合は手術室にて点滴をします)。		・止血剤入りの点滴が続きます。 ・夕方に抗生剤の点滴があります。		・朝・夕に抗生剤の点滴があります。		→ ・点滴は夕方終了します。		
	内服	・内服している薬を確認します。 抗凝固剤・抗血小板剤が中止されているか確認します。		・麻酔科より指示がある場合は、内服薬を朝6時に少量のお水で飲みます。		・内服薬が再開します。				
				・医師が決めた時間まで酸素マスクをします。 ・適宜検温を行います。 ・深部静脈血栓症予防目的で、弾性ストッキングを着用、または手術後フットポンプを使用する場合があります。		・レントゲンの結果によって尿の管を抜きます。血尿が持続する場合は、長めに尿の管を入れておきます。 ・尿の管が抜けない場合は退院が延期となる可能性があります。		→		
検査		レントゲン				採血・レントゲン				
活動・安静度		・活動に制限はありません。		・手術室には車椅子・もしくは歩いて行きます。		・翌朝までベッド上安静です。		・手術後初めて歩く時は看護師が付き添います。その後、歩行が安定していれば病棟内は自由に歩行出来ます。		
食事		・昼食・夕食があります。		・夜0時以降は食事、朝5時以降水分は摂れません。		・絶飲食です。 ・のどが渇くときは、うがいのみ可能です。		・お腹が動いてガスが出たら、朝より食事(お粥)が再開します。		
清潔		・入浴をすることができます。				・看護師が身体を拭くお手伝いをします。		・熱がなければシャワー浴ができます。		
排泄		・トイレの所定の場所に尿をためてください。方法は看護師が説明します。		手術室に行く前に排尿を済ませてください。		手術室で尿の管の管が入ります。 ・排便はベッド上で便器を使用して行います。		・尿の管を抜いた後はトイレの所定の場所に尿をためてください。(尿漏れがある場合はパットを使用してください)。 ・排便は歩けるようであればトイレに行きます。		
患者さん及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導		・病棟看護師が問診を行い手術について説明します。 ・手術承諾書・麻酔承諾書を看護師にお渡しください。 ・手術前にバスタオルと前開きの寝衣をご用意ください。		・手術前に弾性ストッキングを着用してください。 ・点滴を開始する前に、前開きの寝衣に着替えてください。 ・義歯・貴金属を外してください。 ・貴重品は、セーフティーボックスに入れて、鍵は付き添いの方に預けてください。(付き添いの方が来られないなど、やむを得ず貴重品管理が出来ない場合は看護師にご相談ください。)		・苦痛(尿意やお腹の張りなど)が出現した時は看護師へ遠慮なくお知らせください。				・お水を1日にたくさん(1500～2000ml程度)飲んでください。 ・バランスの良い食事を心がけましょう。(塩分・糖分、動物性タンパク質、お酒をとりすぎない。) ・就寝前(2～4時間前)の食事は控えましょう。 ・退院後の飲酒は血尿の悪化の可能性があるため次回外来まで飲酒を控えてください。 ・退院後2～3日は激しい運動はしないでください。 また、一ヶ月ぐらいは、自転車・オートバイに乗らないでください。 ・もし高熱が出たり、血尿が強くなってきた等気になる症状が出た場合は、外来を受診してください。

ご質問やご不明な点がありましたら、医師または看護師にお伝えください。予定は、お身体の状態や検査の状況で変更となる場合がございます。ご了承ください。  
東邦大学医療センター 大森病院  
作成日:平成28年11月14日